

令和 6 年度 上 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	サンフレンドみわ・児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市門屋字野崎95番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	18,653,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造2階建 ◇敷地面積:1,846.76㎡ ◇延床面積:674.92㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、図工室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場 ※障がい者センターとの合築で事務室ほか共有部分あり		

●利用状況

		R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,963	6,014	6,400	4,608	5,769
	移動児童館利用者数	431	465	419	418	170
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※12(10)	※12(10)	※13(12)	※12(11)	※7(7)
	開館日数(単位:日)	154	151	155	151	155

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。 開館時間を17:30までとし、15分間館内清掃時間としました。 ②常勤職員3名(所長は障害者センター兼務)、非常勤職員1名、合計4名(うち保育士・幼稚園教諭2名、児童厚生指導員有資格者2名)配置。 ③小学生用おたよりは、PDFにて配信することで、タブレットでいつでも閲覧可能となりました。また、子どもがよく集まる駄菓子屋さんにも掲示させてもらいました。幼児用は、児童センターと近隣の保育園、幼稚園のイベントを掲載したものとおたよりを北東部コミュニティセンターに置かせてもらい、移動児童館でも配布しました。幼児用のおたよりは、自治会の回覧板と一緒に回覧してもらいました。また、館内には行事ポスターと共に掲示しました。イベントの際には、一番近隣の東児童センターにチラシを置かせてもらいました。ホームページやインスタグラムで行事の様子や、案内、募集、緊急性のあるお知らせにも活用しました。岐阜市母子手帳アプリ「母子モ」でも、クラブやイベントの案内など様々な情報発信をしました。児童センター運営員会で、活動内容、事業計画等PRしました。自治会長の提案で自治会の回覧板に幼児用のおたよりを回覧してもらいました。 ④ご意見箱と子どもなんでもご意見箱(子ども専用)をよく見える場所に設置して利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としています。苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで苦情に対し適切に対応できる体制としました。児童・保護者を対象にアンケートを年間2回実施しています。(上半期は1回) ご意見箱に寄せられた苦情・意見、児童館運営委員会での意見、アンケート結果は、館内に掲示するとともに、ホームページで公開し、改善できるものは迅速に対応しました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①指定管理者マニュアルにもとづき安全対策における日常点検と委託業者による浄化槽、エレベーター、消防設備、電気設備点検等保守点検を適切に実施しました。 ②就労継続支援B型事業所による清掃を週2回実施するとともに、毎日職員が館内清掃を実施しました。トイレ清掃については、和式であるため特に床にも消毒を散布して徹底的に清掃しました。施設園庭の草刈り、落ち葉清掃などこまめに環境整備に努めました。施設内外の(カエル、蜂)などの害虫等の駆除、ごうりの糞を毎日清掃しました。倒木の危険のある植木を職員により切ること安全確保しました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等のスイッチを切り(熱中症に注意して)、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、利用者からのペットボトル及び、牛乳パックなどの廃材を再利用するなど環境に配慮した施設運営に心掛けました。 ④専門業者による野外遊具、設備点検を実施しました。安全計画による日常点検チェックシートを実施しました。月2回のAEDも点検を実施しました。また、「おもちゃ病院ぎふ」に来館してもらいおもちゃの修理を依頼しました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰いでいます。遊戯室のエアコンの水漏れは、早急に修繕していただきました。 ②大規模な修理については岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に要望を提出しました。トイレの洋式化については、岐阜市と調整中。おもちゃ図書館、2階ホール、図書学習室の電気のLED化、2階ホール北側壁面、図書学習室南側壁面、おもちゃ図書館南側、西側壁面のクラックからの水漏れ修繕は今年度修繕予定。浄化槽点検時の業者からの指摘事項について岐阜市と調整中です。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法関係法令を遵守し適切に実施しました。 ①個人情報が記載された用紙は、使用後全てシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 ②災害や事故が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団並びに岐阜市に迅速に報告する体制を構築しました。非常用備品の入替をしました。災害時に備えて、ヘルメット、軍手を用意しました。 地震に備えて、ロッカーと、棚を固定しました。消防・避難訓練を実施しました(9月11日実施)。緊急通報装置の携帯をしています。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年1月4日～令和6年2月29日 回答者数: 50人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年7月2日～令和6年7月24日 回答者数: 50(小学: 1年7人、2年8人、3年1人、4年24人、5年2人、6年8人) (中学: 1年0人、2年0人、3年0人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)
---------------	---

利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 三輪南(20人)、三輪北(4人)、藍川(4人)、長森西(3人)、その他市内(3人)、その他市外(16人) 【年齢】 10代(0%)、20代(18%)、30代(64%)、40代(12%)、50代以上(6%) 【利用頻度】 初めて(10%)、ほぼ毎日(0%)、週2~3回(16%)、週1回(28%)、2週に1回(14%)、月1回(20%)、その他(12%) 【来館相手】 子(100%)、孫(0%)、友人(0%)、その他(0%) 【子・孫の年齢】 0歳(18%)、1歳(25%)、2歳(13%)、3~6歳(44%) 【来館方法】 徒歩(2%)、自転車(4%)、自家用車(94%)、公共交通機関(0%) 【何で知った】 ホームページ(22%)、広報紙・チラシ(2%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(2%)、知人・友人(23%)、ぎふし子育て応援アプリ(0%)、ソーシャルメディア(2%)、その他(18%) 【評価】 (あいさつ) 満足(90%)、ほぼ満足(10%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(90%)、ほぼ満足(10%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(90%)、ほぼ満足(10%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(74%)、ほぼ満足(22%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(82%)、ほぼ満足(16%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(78%)、ほぼ満足(18%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気) 満足(84%)、ほぼ満足(12%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 三輪南小(42人)、岩野田北小(2人)、その他市内(1人)、その他市外(5人) 【学年】 小学: 1年(14%)、2年(16%)、3年(2%)、4年(48%)、5年(4%)、6年(16%) 中学: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(6%)、週4~5回(10%)、週2~3回(48%)、週1回(14%)、その他(20%) 【来館相手】 ひとり(20%)、友人(52%)、兄弟姉妹(2%)、父母(26%)、祖父母(0%)、親戚(0%) 【来館方法】 徒歩(20%)、自転車(36%)、自家用車(44%)、バス・電車(0%) 【好きな遊び】 ドッジボール(28%)、ボードゲーム(21%)、工作(18%)、卓球(14%)、人狼(8%)、鬼ごっこ(5%)、その他(6%)
利用者からの要望・苦情と対応・改善	<保護者> ・洋式トイレが1階にもあってほしい。 →現在市役所に依頼中です。来年度には1階にも洋式トイレが設置される予定です。もう少しご不便をおかけしますがよろしくお願いします。 ・ロビーと廊下が暑い →エアコンがないので扇風機を回して風を送っていますが、それ以上の対応は難しいのが現状です。 ・飲み物だけでなく、おやつを食べてよいスペースがあればいい。 →おやつは、こぼれていれば小さい子が口にする場合があるため、遠慮させてもらっていただいています。ご理解いただけるとありがたいです。 ・1階の幼児室のおもちゃの量をもっと増やしてほしい。 →9月末に幼児室のリノベーションに伴い2階のおもちゃ図書館の場所に幼児室は移動します。広いお部屋なので、たくさんおもちゃをご用意できますので、もう少しお待ちください。 ・遊戯室でもっと遊びたい。予約でいつも一杯だから。 →遊戯室は、誰もが使える人気のお部屋なので、15分交代にしています。たくさんの子が遊べる様、利用回数なども検討していきます。 <児童> ・卓球の球を増やしてほしい。 →少ないようであれば状況を見て増やしていきますね。 ・ボールプールをやってほしい。 → 幼児までしか遊べないので、ごめんなさい。 ・お菓子を食べれる場所が欲しい。 →こぼれたものを小さい子が口にしたら危険なので、わかってもらえたらうれしいです。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	SS	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	S	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

□利用者アンケートの実施(公平性・透明性①)
・子どもたちに児童館の好きなところは、工作があるところ、先生が遊んでくれるなど、職員の日々の業務として重点をおいているところが子どもたちから評価されていました。また、小学生の利用者は、前年比155%増で数字としても表れています。

・「ご意見箱」と、「なんでも子どもご意見箱」の設置(再掲①②④)
大人だけでなく子ども用と2種類のご意見箱を受付の見やすい場所に設置してあります。児童からは時折意見が寄せられています。希望に叶えられるものは、検討し、難しいものは、直接口頭で説明して、理解を求めました

□運営委員会の開催(公平性・透明性①)
上半期に対面方式で実施。事業報告、事業計画を説明し、出席者より多くの共感を得ることができました。その結果、今後の事業について、各関係機関からの協力体制が強化されて、事業の展開に繋がりました。(自治会での幼児用おたよりを回覧板で配布、小中学生不登校児の利用、三輪中、藍川中のボランティアの協力、各イベントの参加など)

□広範で適切な情報提供・広報活動の実施(公平性・透明性②)
・幼児用おたより(再掲②⑥⑭)
保育所・幼稚園((三輪北・三輪南・藍川地区)と、児童館のイベントが掲載された「子育てわくわくカレンダー」と、児童センターのイベントが記載されている「おたより」の2部を毎月発行して、北東部コミュニティーセンターに置かせてもらいました。また、毎月実施している移動児童館「みわっこすくすく」に出向いた際にも配布して利用に繋げています。

・幼児クラブの募集については、新学期の移動児童館(みわっこすくすく)に出向いた際に直接PRすることで、幼児クラブへの参加に繋がりました。(再掲②⑥⑭)
・小学生のおたより(再掲②③⑥)
今年度よりPDFで配信しています。タブレットに直接届き確実に見られるという利点がありました。また小学校近くにある児童がよく集まる駄菓子屋さんにも小学生のお便りを設置させてもらいました。

・運営委員会で自治会長の提案により、三輪自治会の回覧板に幼児用のおたよりを回覧してもらうことができました。再掲①②⑥)
・一番近隣である東児童センターに、イベントの際にチラシを置かせてもらい利用者増に繋がりました。(再掲②⑥)

□業務改善や工夫(効果性③)
・公式ラインの登録(再掲③⑥)
幼児クラブや、母親クラブの利用者には、公式ラインの登録をしてもらい、個人情報が出ししない設定の上で利用してもらいました。お知らせや、クラブや行事の出欠席の連絡をもらうことがスムーズになりました。また、イベントや講座の案内にも活用して利用に繋がりました。

・小学校のおたよりは今年度よりPDFで配信しています。タブレットに直接届き確実に見られるという利点がありました。また小学校近くにある児童がよく集まる駄菓子屋さんにも小学生のお便りを設置させてもらいました。(再掲②③⑥)
・タープの設置
夏季には暑さ対策の一つとしてタープを設置して、少しでも日陰の中で活動ができるように工夫をしました。幼児クラブでの活動として水遊びやシャボン玉などもタープの中で、開放的に活動してもらうことができました。また、小学生がタープの下の日陰でお菓子を食べたり、遊んだりする時にも、大変喜ばれました。

・夏のプール遊び
熱中症警戒アラートが発令されて園庭では危険なため、玄関先でプール遊びを実施しました。暑さ対策ができた上で安心して楽しんでもらうことができました。乳幼児はもとより、妊婦であったり、乳幼児を抱えた母親には、大変好評でした。

・平日クラフト時間の変更(再掲③⑥)
今までは3時から4時まででしたが、まだ児童が児童館に来れない時間帯であったため、3時15分から4時15分までと、時間帯を変更することで、より多くの児童が参加しています。

・宝探し
館内に8か所至る所に宝であるカードが隠されています。隠された宝のカードを探して、その隠されていた場所が記されているシートにチェックを入れていきます。全ての場所にチェックが入ると「勇者カード」にスタンプを押してもらいます。スタンプが4個溜まると、メダルをもらうことができます。宝の位置は毎週変わるので、飽きることなく多くの利用者が楽しんでいきます。一人や、初めて来館した利用者にも気軽に楽しめます。幼児、小学生はもとより保護者も夢中になるくらい人気の遊びの一つとして利用されています。

・児童センターのマスコットキャラクター「みわわ」の塗り絵
児童センターマスコットキャラクター「みわわ」と季節感ある風景を一体化した絵を職員が毎月描いて塗り絵にして子どもたちに提供しています。子ども達が塗った塗り絵は玄関に掲示しています。玄関の一番見やすいところに張ってあることにより「みわわ」の認知度も高まり、「みわわ」人気も続いています。

・幼児クラブの募集については、新学期の移動児童館(みわっこすくすく)に出向いた際に直接PRすることで、幼児クラブへの参加に繋がりました。毎回、移動児童館で訪問した際には、イベントや、クラブの案内をして利用を促しました。(再掲②③⑥)

・児童との関わり
どの職員も、卓球、バドミントン、バレーボールなど常に児童と関わっています。時には、園庭で鬼ごっこをします。鬼ごっこは児童には大変人気です。一人で遊びに来た児童には特に寄り添って遊びに付き合う体制をとっています。気になった児童については職員全員で共有して対応を統一しています。

・「パパさんクラブ」
父親の利用が多い土曜日に毎月1回午前に開催しています。幼児クラブで行うような活動内容ですが、今年度から毎月1回行うことで定着してきており、好評です。

新規事業(行事)等の実施(効果性③)
・新入生歓迎会
始まる前に、新入生歓迎のポスターを参加する児童に制作してもらいました。新入生は、在校生と一緒に楽しくゲームなどで楽しむ姿が見られました。

・ボランティアによる卓球教室
毎月第2土曜日午前と日程を確定して開催しました。三輪地区だけでなく、藍川地区の子も参加がありました。初心者も、上級者もそれぞれに合わせて、指導してもらい、どの子も真剣に取り組む姿が見られました。また、球拾いもみんなでやってくれました。

・三輪中フリースペース利用生徒の活動の場の提供(再掲③④⑭⑮)
フリースペース利用の生徒数名が、幼児クラブのお手伝いに来てくれます。一緒に活動しながら、使用する用具を配布したり、活動の最後のシールを配ってくれます。学校では見ることがない笑顔が見られ、児童センターで職員が褒めてくれることが喜びに繋がっていると教員から聞いています。また、フリースペース利用の生徒の中でも、児童センターに来れない生徒も数名おり、学校内のフリースペースで幼児用の手作り玩具(ひっくりかえる亀)を作ってプレゼントしてくれました。夏祭りには、出し物の一つであるワニワニパニックをフリースペース利用生徒全員が製作してくれました。その出来栄は素晴らしいものでした。

・藍川北中ボランティア(再掲③⑤)
藍川夏祭りで使用するクラフトの材料をボランティアとして制作してもらいました。運営委員会で藍川地区から子どもだけで利用させられないという意見があり、職員が出向いて制作指導に当たりました。お祭り当日もボランティアとしてお手伝いしてもらいました。

今期の取組み
に対する評価

・メディアコスモスで団体利用カードを登録(再掲③⑤)
多くの本を定期的に借りて、乳幼児の母親に提供しています。
ポップを使って手に取ってもらいやすい工夫もしました。
・「児童センターなつまつり」(再掲③④)
幼児、小学生合同で実施しました。三輪中の生徒がボランティアとして事前準備の看板作りから、当日のお手伝いも積極的に行ってくれて、祭りを盛り上げてくれました。夏祭りのイベントのオープニングには、三輪中学校の合唱部の生徒による合唱を披露してもらいました。その際には、三輪中の先生、生徒の見学もあり玄関ホールは大変盛り上がったものになりました。前日の準備には、障害者センターの利用者に水風船を膨らませてもらうお手伝いをしてもらいました。また、母親クラブ、日赤奉仕団のボランティアにも各ブースのお手伝いをしてもらいました。また、講師によるシャボン玉ショーも行い、さらに祭りを盛り上げたものになりました。(過去最高200名ほどの利用がありました)
・夏休み行事(再掲③④⑤)
障害者センターの利用者が講師として講座を開講
「じいじのクラフト教室」
訓練の一環でおこなってみる革細工でキーホルダー作りを教えてもらいました。
「手話講座」
聴覚障害の利用者は、簡単な挨拶と「嬉しい」、「悲しい」「好き」「嫌い」などの感情を伝える手話を教えてもらいました。館内のイベントの張り紙を見て、遠方の校区の友人に声をかけて、祖父母とともに参加してくれた児童もいました。
「組みひも体験講座」
障害者センターで機能訓練の一環として行われている伝統芸能である組みひもを組み体験をしました。組んだ紐は障害者センターの職員によって、キーホルダーにしてもらい喜ぶ姿がみえました。子どもから家族に好評であったと聞きました。
「スーパーボールすくい」
夏祭りの一部のような感覚で楽しめて、さらにすくったスーパーボールはもらえるため、お土産ができたことと喜ばれました。
「絵画教室」
講師を招いて、絵を描く楽しさを体験してもらうことや、絵を描く技法を習得する目的で夏休み期間3回企画しました。大きな画用紙に絵の具を絵筆や刷毛、ティッシュを使って塗ったり、塗った上からきらきら光るラメを散らばせたり自由に楽しんでいました。参加した子供たちは、とても集中して、2時間近く画用紙に向かって夢中で描いていました。毎回楽しみに参加する児童もいれば、2回目に祖父母に連れてきてもらい参加した児童は、大変気に入って3回目も参加していました。祖父母から、たまたま利用した時に絵画講座があったこと大変喜ばれていました。
夏休みのクラフト、「石鯨づくり」と「うちわづくり」
多くの児童が参加しました。夏休みは常連以外の利用者も多く、祖父母に連れられてきている児童が目立ちました。児童館でこのようなイベントがあること大変喜ばれていました。
・母親クラブで「ディンプルアート」講座(再掲③⑤)
「ディンプルアート」講座を体験してもらいました。講師の先生のもと専門的な指導を受けました。また、この講座には、障害者センターの利用者も参加しており、交流にもなりました。乳幼児をつれた母親の参加には職員が託児をしました。
・「レクリエーション協会の道具の活用」
フープディスクゲッターを借用して、普段体験したことのない遊びを説明して児童に楽しんでもらいました。
・ドリームシアターからの職員派遣にて大道芸講座
コマ回し、ジャグリング等を教えてもらいました。小学生だけでなく、その保護者も一緒に体験することができて有意義な時間を過ごしてもらいました。
・土曜日のイベント
カロム大会、大型トランプ、色返しなど、館内にいる児童全員と一緒に楽しみました。
・クッキークラブ(未就園児)を新設
登録制ではないため、当日来館した乳幼児の参加を促し、喜ばれました。登録制のクラブの加入のきっかけにもなりました。
・恵光学園の職員による乳幼児の発達や、子育ての悩みについての相談会(再掲③⑤)
幼児クラブで一緒に活動して子どもの様子を見てもらった上で、クラブ後に子育てや発達についての悩みのある母親の相談会を設けました。専門の職員による相談会には多くの母親が個々の悩みについて相談に応じてもらいました。
◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。
・サイエンスショーの際には、小学生ボランティアを募集して、司会進行してもらいました。
・行事後は、小学生ボランティアが行事で使用した道具などを一緒に片づけるのを手伝ってもらいました。
□利用者のニーズ、苦情の把握(効果性④)
・「ご意見箱」と、「なんでも子どもご意見箱」の設置(再掲①②④)
大人だけでなく子ども用と2種類のご意見箱を受付の見やすい場所に設置してあります。児童からは時折意見が寄せられています。希望に叶えられるものは、検討し、難しいものは、直接口頭で説明して、理解を求めました。
□利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映(効果性④)
・利用者アンケートでご意見をいただいた内容について、児童センターの運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。また、実行できないものについては実行できない理由を説明し、ご理解をいただけるよう務めました。
・「新しいおもちゃを追加してほしい」については、新しいおもちゃの入れ替え及び購入をし、アンケートや子どもなんでもご意見箱による聞き取りを行いました。
・施設の整備についての要望は、市役所に依頼をしてできる限り早い対応をお願いしています。また、すぐに出来ないものについても、目途を尋ねて、利用者に理解を求めています。(トイレの洋式化、照明のLED化、駐車場の整備、エアコンの水漏れ等)
◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。
・三輪中フリースペース利用生徒の活動の場の提供(再掲③④④⑤)
フリースペース利用の生徒数名が、幼児クラブのお手伝いに来てくれます。一緒に活動しながら、使用する用具を配布したり、活動の最後のシールを配ってくれます。学校では見ることがない笑顔が見られ、児童センターで職員が褒めてくれることが喜びに繋がっていると教員から聞いています。また、フリースペース利用の生徒の中でも、児童センターに出来ない生徒も数名おり、学校内のフリースペースで幼児用の手作り玩具(ひっくりかえる亀)を作ってプレゼントしてくれました。夏祭りには、出し物の一つであるワニワニパニックをフリースペース利用生徒全員が製作してくれました。その出来栄は素晴らしいものでした。(再掲③④④⑤)
・気になる子どもについては、職員で情報を共有して対応を統一しています。それ以上に問題があるというケースにおいては、各小学校、中学校とも情報を共有して見守っていく体制が出来ています。
・他施設の事例研究
今年度より、当事業団が管理する児童館・児童センター9館のスキルアップ研修会で、他施設で実際に起きた事例を聞くという体制を作りました。配慮を必要とする子どもが利用された際、適切に対応できるようにしました。

今期の取組み
に対する評価

□移動児童館の実施(効果性④)
実施回数:12回(延べ431人)
・小学校、親子ふれあい教室など5団体計12回実施しました。
・藍川北中ボランティア
藍川夏祭りで使用するクラフトの材料をボランティアとして制作してもらいました。運営委員会で藍川地区から子供だけで利用させられないという意見があり、職員が出向いて制作指導に当たりました。お祭り当日もボランティアとしてお手伝いしてもらいました。(再掲③⑤)
□利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤)
・メディアコスモスで団体利用カードを登録(再掲③⑤)
多くの本を定期的に借りて、乳幼児の母親に提供しています。
ポップを使って手に取ってもらいやすい工夫をしました。
・母親クラブは、新規にディンブルアートなど普段体験できない講座に参加してもらいました。障害者センターの利用者と一緒に受講し、交流が持てました。同伴した幼児は職員が制作しているそばで遊ばせていました。(再掲③⑤)
・0歳児のクラブでは、保健師に来ていただき、初めての育児に不安を抱える母親にとって安心して育児ができるアドバイスを頂くことができました。
・恵光学園の職員による乳幼児の発達や、子育ての悩みについての相談会(再掲③⑤)
幼児クラブと一緒に活動して子どもの様子を見てもらった上で、クラブ後に子育てや発達についての悩みのある母親の相談会を設けました。専門の職員による相談会には多くの母親が個々の悩みについて相談に応じてもらいました。
□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施(効果性⑥)
・一番近隣である東児童センターに、イベントの際にチラシを置かせてもらい利用者増に繋がりました。(再掲②⑥)
・幼児クラブの募集については、新学期の移動児童館(みわっこすくすく)に出向いた際に直接PRすることで、幼児クラブへの参加に繋がりました。毎回、移動児童館で訪問した際には、イベントや、クラブの案内をして利用を促しました。(再掲②③⑥)
・運営委員会で自治会長の提案により、三輪自治会の回覧板に幼児用のおたよりを回覧してもらうことができました。再掲(①②⑥)
・幼児用おたよりとして、保育所・幼稚園((三輪北・三輪南・藍川地区)と、児童館のイベントが掲載された「子育てわくわくカレンダー」と、児童センターのイベントが記載されている「おたより」の2部を毎月発行して、北東部コミュニティーセンターに置かせてもらいました。また、毎月実施している移動児童館「みわっこすくすく」に出向いた際にも配布して利用に繋がっています。(再掲②③⑥)
・幼児クラブの募集については、新学期の移動児童館(みわっこすくすく)に出向いた際に直接PRすることで、幼児クラブへの参加に繋がりました。(再掲②⑥⑬)
・小学校のおたよりは今年度よりPDFにて配信しています。タブレットに直接届き確実に見られるという利点がありました。また小学校近くにある児童がよく集まる駄菓子屋さんにも小学生のお便りを設置させてもらいました。(再掲②③⑥)
・公式ラインの登録(再掲③⑥)
幼児クラブや、母親クラブの利用者には、公式ラインの登録をしてもらい、個人情報が流出しない設定の上で利用してもらいました。お知らせや、クラブや行事の出欠席の連絡をしてもらうことがスムーズになりました。また、イベントや講座の案内にも活用して利用に繋がりました。
・毎月のイベント情報をわかりやすく掲示板に書き込み表示した上で、声掛けによってイベントの問い合わせが多くなり、参加者も増えました。
・卓球教室や、夏休みのイベントは、よく目につくところにポスターを掲示して参加者を募りました。
・平日毎日行っているクラフトは3時から4時まででしたが、まだ児童が児童館に来れない時間帯であったため、3時15分から4時15分までと時間を変更することで、より多くの児童が参加しています。(再掲③⑥)
・初めて利用する乳幼児を抱える利用者には、幼児クラブやイベントの案内をして、参加に繋がりました。
□管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水、節電など)(効率性⑨)
・園庭の草刈りを職員が率先して環境整備を行いました。
・園庭の南側にある植木の1本が枯れて倒木の危険があったため、職員で切ることで、安全に遊べるような環境づくりをしました。(再掲⑨⑬)
・駐車場には、看板もなく、利用者以外の車の駐車も見られ、利用者が多い時には出入り口にも駐車されて出入りができないことがあったため、コーンを設置して駐車禁止の場所が分かるような工夫をしました。市役所で、看板の設置と出入り口に車が駐車できないように依頼しました。
・遊戯室のエアコンの水漏れがあり、たらいを置いていました。洗浄の必要があるとのことで、市役所に依頼し修繕してもらいました。
・毎回大雨が降ると、2階ホールの北側の壁面、学習室の南側、東側の壁面、おもちゃ図書館の南側と西側壁面のクラックより水漏れがあるため、早急に修繕予定となりました。
・トイレの洋式化については、和式では不衛生であり、また、乳幼児にとって、トイレはトイレトレーニングなどの点においても大切な場所であることから早急改修を依頼している。
・図書学習室、2階ホール、おもちゃ図書館の電気が暗いと要望があったため、岐阜市でLED化してもらえる予定となりました。
□職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加(安定性安全性⑫)
・児童厚生員等基礎研修会
9月:大阪 健全育成論、児童館論、安全指導、安全管理等
・虐待防止研修(再掲⑫⑬)
5月:事務局 岐阜県警少年サポート
・児童虐待について、こどもサポート総合センターの役割、最近の子どもについて
9月:事務局 岐阜市子ども・若者総合支援センター
発達障害児と保護者への対応
・熱中症対策 (再掲⑫⑬)
7月:事務局 南保健センター職員のよる乳幼児の熱中症対策と、初期対応
・普通救命講習(再掲⑫⑬)
6月:消防本部(事前にeラーニングにて受講)
・新規採用者研修(再掲⑫⑬)
7月:事務局 児童館の役割について
・職員スキルアップ研修会(再掲⑫⑬)
6月:西児童センター 読み聞かせのポイントとブックの貼り方
7月:本郷児童センター おすすめのおもちゃとゲーム
・感染症対策研修 (再掲⑫⑬)
8月:オンラインにて

□危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備(安定性安全性⑬)

- ・安全計画策定によるチェックリストの作成により毎日点検
- ・備蓄用保存アルファ米、保存食 飲料水の入替補充
- ・地震に備えて、事務室内の職員ロッカーと食器棚の固定
- ・災害用ヘルメット、軍手の準備
- ・こうもりの糞が人工芝の上や、遊戯室の周りに多量に落ちていて、触れると感染症を引き起こす危険があるために、毎日清掃しています。
- ・園庭の南側にある植木の1本が枯れて倒木の危険があったため、職員で切ることで、安全に遊べるような環境づくりをしました。(再掲⑨⑬)
- ・浄化槽の蓋がぐらついていて乗ると落ちる危険があることと、園庭の土が減ってしまい、マンホール周りのコンクリートとの段差があるため、踏く危険があるため、立ち入りできないようにコーンを置き入らないようにしました。業者より修繕指摘を受けたため市役所に修繕依頼しています。

□リスク防止策の実践(安定性安全性⑬)

- ・虐待防止委員会の開催

当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催しました。チェックリストを含め、前年度の活動について見直しをした上で今年度の活動の仕方を検討しました。事例についてはスキルアップ研修会でも事例があれば伝達をして、施設長のみならず職員にも虐待事例を学ぶ場を設けました。

- ・虐待防止研修会の開催(再掲⑫⑬)

虐待防止研修会を開催し、児童館・児童センター職員として子どもの虐待防止に向けた適切な対応ができるよう取り組みました。

- ・虐待防止研修(再掲⑫⑬)

5月:事務局 子ども サポート総合センター職員による総合センターの役割、最近の子どもについて
9月:事務局 岐阜市子ども・若者総合支援センター7職員による 発達障害児と保護者への対応
合同避難訓練の実施(9月11日実施)

障害者センターとの複合施設であるので、お互いに連携して避難誘導訓練を行いました。お互いの施設の役割確認もできました。

□地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭)

- ・幼児用おたよりとして、「子育てわくわくカレンダー」保育所・幼稚園((三輪北・三輪南・藍川地区)と、児童館のイベントが掲載されたものと、児童センターのイベントが記載されている「おたより」の2部を毎月発行して、北東部コミュニティーセンターに置かせてもらいました。また、毎月実施している移動児童館「みわっこすくすく」に出向いた際にも配布して利用に繋がっています。(再掲②⑥⑭)
- ・幼児クラブの募集については、新学期の移動児童館(みわっこすくすく)に出向いた際に直接PRすることで、幼児クラブへの参加に繋がりました。(再掲②⑥⑭)
- ・3校区の青少年育成市民会議(家庭部会)と連携し親子ふれあい教室運営を実施しました。
- ・三輪中学、三輪南小の不登校児についての対応をその都度協議しています。
- ・三輪南小から依頼を受け、外出行事の際雨天時の途中トイレ休憩の場として利用してもらいました。
- ・藍川小学校にて、藍川夏祭りに参加しました。じゃんけんゲームととくるるレインボーというクラフトを行いました。多くの参加者で盛り上がりました。(81名参加)藍川中学校の生徒にボランティアで事前準備のクラフトの準備と当日のアシスタントのお手伝いをしてもらいました。(⑤⑭⑮)
- ・恵光学園から依頼を受け、行事の際雨天時の活動の場として、利用申請がありました。また利用にあたって、その都度、おもちゃの配置、飲食の場の確認など細かな部分までの打ち合わせをしました。(上半期1回利用あり)
- ・近くの放課後デイサービスが平日も含め、頻繁に利用されています。(上半期13回134人利用)

□地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用(貢献性⑭)

- ・七夕用の竹を自治会長宅から頂くことが出来て、玄関ホールに天井まで届く大きさで立派に飾ることができました。このように自治会との日常的な交流を持っています。
- ・夏休みに障害者センターの利用者が講師として講座を開講(③④⑭⑮)

「じいじのクラフト教室」

訓練の一環として行われている草細工でキーホルダー作りを教えてもらいました。

「手話講座」

聴覚障害の利用者には、簡単な挨拶と「嬉しい」、「悲しい」「好き」「嫌い」などの感情を伝える手話を教えてもらいました。館内のイベントの張り紙を見て、遠方の校区の友人に声をかけて、祖父母とともに参加してくれた児童もいました。

「組みひも体験講座」

障害者センターで機能訓練の一環として行われている伝統芸能である組みひもを組み体験をしました。組んだ紐は障害者センターの職員によって、キーホルダーにしてもいい喜ぶ姿がみえました。家族にも好評であったと聞きました。

- ・三輪中フリースペース利用生徒の活動の場の提供(再掲③④⑭⑮)

フリースペース利用の生徒数名が、幼児クラブのお手伝いに来てくれます。一緒に活動しながら、使用する用具を配布したり、活動の最後のシールを配ってくれます。学校では見ることがない笑顔が見られ、普段褒められたことのない生徒が、児童センターにただで職員が褒めてくれることが喜びに繋がっていると教員から聞いています。また、フリースペース利用の生徒の中でも、児童センターに來れない生徒も数名おり、学校内のフリースペースで幼児用の手作り玩具(ひっくりかえる亀)を作ってプレゼントしてくれました。夏祭りには、出し物の一つであるワニワニパニックをフリースペース利用生徒全員が製作してくれました。その出来栄は素晴らしいものでした。(再掲③④⑭⑮)

- ・岐阜聖徳学園大学の学生による人形劇(3匹のこぶた)をやってもらい、幼児から小学生まで楽しみました。人形劇の後の大学生との交流も小学生は楽しかった様子でした。
- ・藍川小学校にて、藍川夏祭りに参加しました。じゃんけんゲームととくるるレインボーというクラフトを行いました。多くの参加者で盛り上がりました。(81名参加)藍川中学校の生徒にボランティアで事前準備のクラフトの準備と当日のアシスタントのお手伝いをしてもらいました。(再掲⑤⑭⑮)
- ・三輪中学校に「児童センターなつまつり」のボランティアを募集して、事前準備として、ポスターづくり、当日のイベントのお手伝いとお願してお祭りを盛り上げてもらいました。(再掲④⑮)
- ・三輪中学校合唱部に「児童センターなつまつり」のオープニングに合唱を披露してもらい、参加した利用者に感動を与えてくれました。(再掲④⑮)
- ・日本赤十字ボランティア団体に夏祭りにイベントの一角をお任せして手伝ってもらいました。(再掲④⑮)
- ・障害者センターの利用者にお祭りで使用する水風船を前日に人数分作ってもらいました。(再掲④⑮)
- ・幼児クラブの際に、障害者センターの人も一緒にシャボン玉を楽しむことで交流を図りました。

□地元の復興、活性化などに貢献できる社会活動への参加(地元行事への参加)

- ・岐阜市社会福祉協議会主催の子育てサークル(みわっこすくすく)に協力しました。
- ・藍川小学校にて、藍川夏祭りに参加しました。じゃんけんゲームととくるるレインボーというクラフトを行いました。多くの参加者で盛り上がりました。(81名参加)藍川中学校の生徒にボランティアで事前準備のクラフトの準備と当日のアシスタントのお手伝いをしてもらいました。(再掲⑤⑭⑮)

今期の取組み に対する評価	□地元の団体・住民との協同事業等の実施 ・三輪中フリースペース利用生徒の活動の場の提供(再掲③④⑭⑮) フリースペース利用の生徒数名が、幼児クラブのお手伝いに来てくれます。一緒に活動しながら、使用する用具を配布したり、活動の最後のシールを配ってくれます。学校では見ることがない笑顔が見られ、普段褒められたことのない生徒が、児童館にただただ職員が褒めてくれることが喜びに繋がっていると教員から聞いています。また、フリースペース利用の生徒の中でも、児童館に來れない生徒も数名おり、学校内のフリースペースで幼児用の手作り玩具(ひっくりかえる亀)を作ってプレゼントしてくれました。夏祭りには、出し物の一つであるワニワニパニックをフリースペース利用生徒全員が製作してくれました。その出来栄は素晴らしいものでした。 ・三輪中学校に「児童センターなつまつり」のボランティアを募集して、事前準備として、ポスターづくり、当日のイベントのお手伝いとお願してお祭りを盛り上げてもらいました。(再掲④⑮) ・三輪中学校合唱部に「児童センターなつまつり」のオープニングに合唱を披露してもらい、参加した利用者に感動を与えてくれました。その合唱には、三輪中の生徒や教職員も多く訪れ、会場である玄関ホールは大変盛り上がりを見せてくれました。(再掲④⑮) ・日本赤十字ボランティア団体に夏祭りにイベントの一角をお任せして手伝ってもらいました。(再掲④⑮) ・障害者センターの利用者にお祭りで使用する水風船を前日に人数分作ってもらいました。(再掲④⑮) ・幼児クラブの際に、障害者センターの人も一緒にシャボン玉を楽しむことで交流を図りました。 ・夏休みに障害者センターの利用者が講師として講座を開講(再掲③⑭⑮) 「じいじのクラフト教室」 訓練の一環でおこなってみえる革細工でキーホルダー作りを教えてもらいました。 ・「手話講座」 聴覚障害の利用者には、簡単な挨拶と、「嬉しい」、「悲しい」「好き」「嫌い」などの感情を伝える手話を教えてもらいました。館内のイベントの張り紙を見て、遠方の校区の友人に声をかけて、祖父母とともに参加してくれた児童もいました。 ・「組みひも体験講座」 障害者センターで機能訓練の一環として行われている伝統芸能である組みひもを組みひも体験をしました。組んだ紐は障害者センターの職員によって、キーホルダーにしてもらい喜ぶ姿がみえました。子どもから、家族に好評であったと聞きました。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	□インスタグラムを活用したり、岐阜市母子手帳アプリに各イベント開催を掲載するなど、広報活動に努めている。 →今年度はインスタや岐阜市母子手帳アプリだけでなく、おたよりを小学生はPDFにして発信したり、児童が集まる駄菓子屋さんにも置かせてもらいました。幼児用は、自治会長の提案により広報と一緒に回覧させてもらいました。また近隣の児童館にイベントの案内のチラシを置かせてもらうなど、広報活動に力を入れました。 □要望のあったトランポリンや滑り台など運動遊びを増やしたり、岐阜ライオンズクラブの協力のもと、壁面ペイント大会を開催するなど、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。 →業務改善については、公式ラインを使って、欠席連絡、イベントの案内に活用しました。また、暑さ対策として、タープを設置して活動の幅を広げました。また、プール遊びも玄関で行うことで、乳幼児や、母親にも安心して遊ばせられるように工夫しました。クラフト時間を15分ずらすことで、多くの児童の参加に繋がりました。職員は常に児童と卓球やバドミントン、バレーボールと関わっています。中でも鬼ごっこは人気です。また、新規事業も多く取り入れました。ボランティアによる卓球教室、三輪中学校のフリースペースの生徒の活動の場の提供や、三輪中や、藍川北中学のボランティアの活用できました。障害者センターの利用者が講師となりクラフトや手話など講座を企画しました。絵画教室なども新規に取り入れるなど夏休みの講座は充実したものとなりました。 □移動児童館を下半期で12回実施し、そのうち未設置地区を10回実施するなど、児童館未設置地区での児童館の活動普及に努めている。 →今期も12回431人の利用がありました。藍川北中学校は、ボランティアとして校区外である為利用させられないという意見を頂いたため、こちらから出向いて夏祭りのクラフト制作をしてもらいました。
今後の取組み	□幼児の利用者数を増やすために、さらなる広報活動と、リノベーションをした幼児室を有効活用できるように新規事業を企画して実施します。 □子どもの主体性を育む取り組みをしていきます。 □来年度に向けて取り組める事業を計画していきます。

●所管課の意見

○暑さ対策としてタープを設置し水遊びや玄関先でプール遊びをしたり、幼児・小学生合同のなつまつりを実施する等、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。
○近隣の中学校と連携し、児童センターをフリースペースとして利用し、夏祭りの出し物を製作してもらう等、子どもの居場所づくりに取り組んでいる。
○近隣小学校の夏祭りに参加したり、地域ボランティアや障害者センターの利用者による講座を開催する等、地域との連携・交流に取り組んでいる。

●指定管理者評価委員会の意見

○施設未設置地区で移動児童館を多く実施しており、評価できる。
○幼児・小学生合同のなつまつりを実施するなど、新規事業に積極的に取り組み、その結果利用者数が増加するなど、利用者確保に取り組んでいる。